

# J PFP 国際人口問題議員懇談会

The Japan Parliamentarians Federation for Population

## NEWS LETTER

No.26 September 2014

### ● ポスト 2015 年開発アジェンダ策定の動向

目標と主なターゲット

 <p><b>目標1: 極度の貧困と飢餓の撲滅</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる</li> <li>飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる</li> </ul>	 <p><b>目標5: 妊産婦の健康の改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊産婦の死亡率を4分の1に削減する</li> </ul>
 <p><b>目標2: 初等教育の完全普及の達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする</li> </ul>	 <p><b>目標6: HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HIV/エイズの蔓延を阻止し、その後減少させる</li> </ul>
 <p><b>目標3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての教育レベルにおける男女格差を解消する</li> </ul>	 <p><b>目標7: 環境の持続可能性確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる</li> </ul>
 <p><b>目標4: 乳幼児死亡率の削減</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する</li> </ul>	 <p><b>目標8: 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間部門と協力し、情報・通信分野の新技術による利益が得られるようにする</li> </ul>

\*ロゴは「特定非営利活動法人 ほっとけな い 世界のますしさ」が作成したものです。

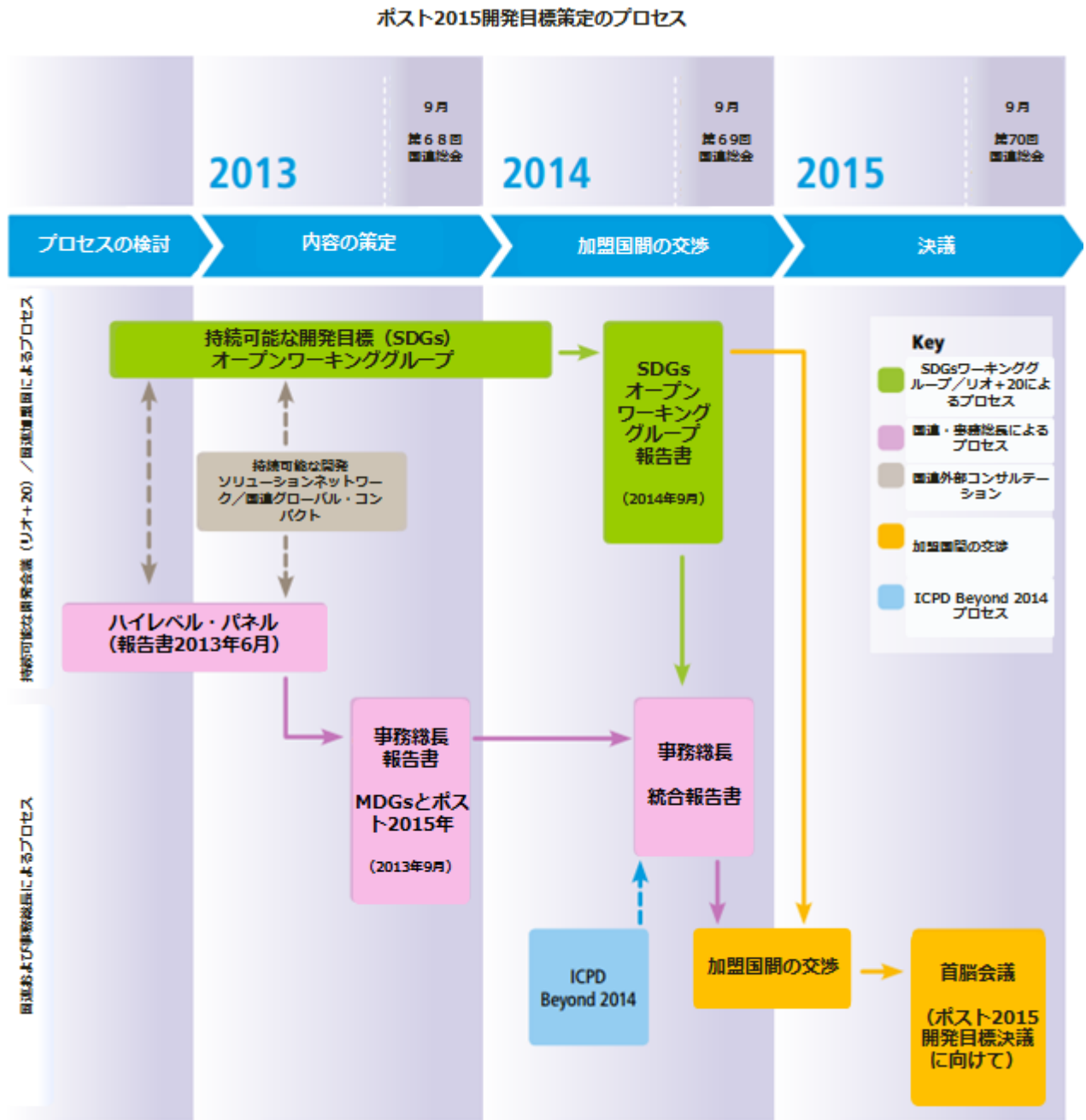
ミレニアム開発目標 MDGs とは、1990 年を基準年に、2015 年までに国際社会が達成すべき 8 つの開発目標を定めたもので(左図)、目標達成のための具体的な 21 のターゲット、その達成度を測るための 60 の指標が設定されました。この MDGs の達成期限である 2015 年が迫る中、2015 年以降の開発目標（ポスト

2015 年開発アジェンダ）の策定に向けた議論が行われています。

### ポスト 2015 年開発アジェンダの策定に向けたスケジュール

国連は、2012 年 7 月にポスト 2015 年開発アジェンダに関する諮問グループとして、ハイレベルパネルを立ち上げ、翌年 5 月には、同パネルによりポスト 2015 年開発アジェンダに関するハイレベルパネル報告書が提出されています。また UNDP が主導して、コンサルテーションを世界各地で行い、多様な関係者からの意見の取りまとめを行っています。これを土台として、この 9 月、ポスト 2015 年開発アジェンダを採択するための政府間交渉が第 69 回国連総会において開始されました。国連総会－ICPD Beyond 2014（国際人口開発会議から 20 年：2014 年以降の展望）特別セッションにおける国際人口開発会議行動計画実施のための国際国会議員会議（IPCI/ICPD）2014 サイドイベントには、牧島かれん JPFP 女性問題副部長も参加しました。今後は、2014 年末までに国連事務総長が政府間交渉に関する報告書とりまとめ、2015 年 9 月

の首脳級サミットを経て、ポスト 2015 年開発アジェンダが採択されることとなります（下図参照）。



” Post-2015 made simple”, 国際家族計画連盟 (IPPF), 日本語訳 APDA

## 国連持続可能な開発会議（リオ+20）と持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals)

2012年6月に開催された国連持続可能な開発会議（リオ+20）において、SDGsがMDGsを補完するものとして、ポスト2015年開発目標に統合的なものとして統合されるべきことが合意されました。そこでSDGsについて各国で議論すべく、30か国によるオープン・ワーキング・グループ（OWG）が設置されています。そして、持続可能な開発目標に関するOWGと持続可能な開発のための財源に関する政府間委員会が2013年に立ち上がり、2014年夏に報告書が出されました。

ポスト 2015 年開発目標に SDGs を統合していくプロセスの中で、持続可能性は重要な要素になると考えられており、SDGs と MDGs との関係をどのように整理し、新たな目標を策定していくのが、ポスト 2015 年開発アジェンダの方向性と内容に関わる重要な論点となっています。

ポスト 2015 年開発アジェンダは、2015 年以降の国際社会における開発目標を定めるものであり、今後の国際協力における重要な指針となり得るものです。これがどのような形で策定されるかということは、人口・開発問題を考える上で重要な意味を持っており、2015 年 9 月までに目標を策定する過程で、我が国としての取り組みがより一層求められています。



国際人口問題議員懇談会(JFPF)事務局

(公財) アジア人口・開発協会(APDA)

TEL: 03-5405-8846

FAX: 03-5405-8845

E-mail: [apda@apda.jp](mailto:apda@apda.jp)

Website: <http://www.apda.jp>

入会をご希望の方は、[apda@apda.jp](mailto:apda@apda.jp)までご連絡くださいますようお願い申し上げます。